

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

[特集] 伝統工芸界の新しい動き



Vol. 38



福井県和紙工業協同組合 理事長 石川浩氏

海外アーティストとのコラボレーションも盛んに行われ、今年2月、福井県和紙工業協同組合によるアクションプラン「越前和紙産地振興計画」が発表された。「Bespoke Washi Echizenへの挑戦」とタイトルがうたれた本計画は、2023年までの5年間で取り組む具体的なアクションプランが示されている。

近年、生活様式の変化や電子化によるペーパーレスが進む中で、和紙の需要は減少傾向にあり

BESPOKE WASHI BY ECHIZEN

ロゴマークとロゴタイプデザインには、イギリスのデザインスタジオ「Anyhow」が携わる

2001年からの15年間に組合員の売り上げは56%減少した。それに伴って廃業も増加し組合員数も23%減少している。このままの状況では、10年後には、組合員数は30社程度まで減少する可能性があり待った無しの状況であった。まずは、減少を食い止め、維持できる状況を作り出すことが喫緊の課題となっている。本計画では、産地の未来像を描いた「産地ブランド戦略」と具体的なアクションプランを策定。目指す方向性を組合員全員が共有化し、一体となって実行に移すことができるよう取りまとめている。

まず、産地振興に向け「産地内連携の確立」を掲げた。現在、組合と産地間屋と協力機会は少なく、営業が間屋任せになっている。また、産地間屋とメーカー間の情報共有も少なく、メーカーは、エンドユーザーのニーズが把握

捉え方が変わってきてしまふ。メッセージを統一させることがエンドユーザーときちんと会話ができる原点になると考えている。これらを海外にも発信していき、いろんな方を産地に呼び込みたい。和紙の情報を求めて越前に来てほしい。アーティストだけでなく使い手、研究者にとってのプラットフォームのような存在になれるよう体制作りをしなければと思っている。」とのこと。

本年度中に、戦略の要であるブランドロゴ等、ブランドディングツールが完成し、インターネット上のブランドサイトが刷新する。

また、当初3年間で体制基盤を強化、産地内プロデューサーを任命し事業推進体制の確率を目指す。計画では、産地全体の生産額を現状の約26億円で下げ止め、21年度には27億6千万円に回復させることを目指している。また、21年までに新商品を延べ7つ開発、ウェブサイトの閲覧数(PV数)を21万7千件/年まで高めるといった数値目標も設定した。世界に向かって躍進する越前和紙の産地の動きに目が離せない。

平成13年 → 平成28年		増減率	
売上	62億8,100万円	27億4,200万円	-56%
組合員数	74社	57社	-23%

組合員の売上・組合員数の推移

2001年からの15年間に組合員の売り上げは56%減少した。それに伴って廃業も増加し組合員数も23%減少している。このままの状況では、10年後には、組合員数は30社程度まで減少する可能性があり待った無しの状況であった。まずは、減少を食い止め、維持できる状況を作り出すことが喫緊の課題となっている。本計画では、産地の未来像を描いた「産地ブランド戦略」と具体的なアクションプランを策定。目指す方向性を組合員全員が共有化し、一体となって実行に移すことができるよう取りまとめている。

まず、産地振興に向け「産地内連携の確立」を掲げた。現在、組合と産地間屋と協力機会は少なく、営業が間屋任せになっている。また、産地間屋とメーカー間の情報共有も少なく、メーカーは、エンドユーザーのニーズが把握

産地ブランド再構築のためのアクションプラン策定

福井県和紙工業協同組合の取り組み

しづらい状況だ。そこで、今回のアクションプランでは、組合と産地間屋との密な協力体制の確立を目指すこととした。組合は、産地メーカーの和紙製造能力、技術力を芸術的に表現したプレゼンテーションツール「テクニカルアーカイブ(作品集)」を準備。見本市、展示会等あらゆる商談の場で活用され、最終顧客からの引き合いはPRツールにより誘導し、産地間屋に繋がれるといった商流イメージを明確に示した。

現在、越前和紙に統一のイメージがなくブランド構築も他産地に比べ進んでいない。今回、そのブランドディングの指針を示すための「ブランドディングブック」を製作、ブランド定義を明確化した。ブランドロゴは、世界を意識し「ECHIZEN WASHI」といった英字表記。和紙を「W」に、紙漉き

テオ・ヤンセン展 in ふくい&クラフトエキシブションから生まれたコラボレーション工芸品

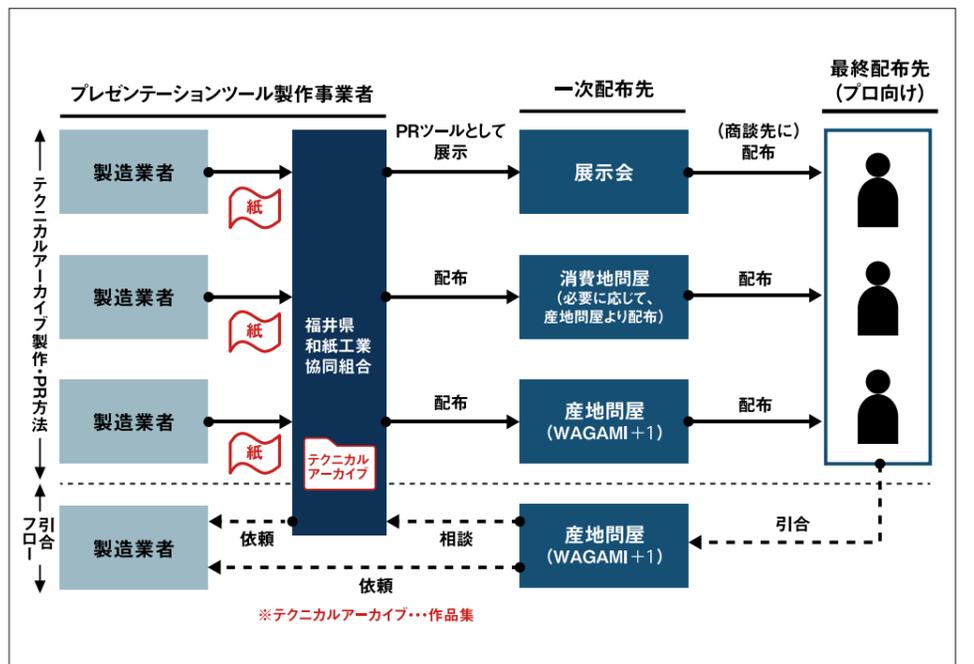
展示会開催にあわせて3つのコラボレーション商品を発売しました。越前打刃物は、龍泉刃物の人気商品であるステーキナイフとレターオープナー。越前漆器は、土直漆器のタンブラー。越前和紙は、杉原商店のアートポスターがそれぞれ、テオ・ヤンセン展限定商品として発売されます。



- 越前打刃物の人気商品であるステーキナイフとレターオープナー。テオ・ヤンセンのロゴが入ったステーキナイフと風神雷神柄のレターオープナー。共にグッドデザイン賞を受賞した逸品。
- 越前漆器のタンブラー。風神雷神が描かれた越前漆器のタンブラーは、2016年に発売以降人気だ。
- 越前和紙のアートポスター。テオ・ヤンセン氏の描いたストランドピースのスケッチを手漉き技法の「凸和紙」で表現。



の道具である柄を「E」に見立てたロゴマークを制作し一貫性のあるビジュアルで統一した。また、越前和紙の特長を、あらゆる用途に対して専門性の高い商品として提供する「逸和紙(Bespoke Washi)」と表現し、ブランドロゴに副題として「あつらえ」を意味する英語「BESPOKE」(ビスポーク)を添え、海外でも越前和紙の特長を直感的に伝わるようにした。本ブランドコンセプトを組合員が全員で共有することにより、産地のブランド



プレゼンテーションツールを活用した際の商流イメージ テクニカルアーカイブのよって得られた引き合いは産地間屋に繋ぐ



「SEKISAKA」ブランドの商品(一部)



「店の運営は母と妹に任せているのですが、オープンの頃は大変だったと思いますね。販売部門と言いつつ自社商品のほとんどない。開店前の半年ほどは、お店の方向性や取扱予定の商品を家族で共有する時間をじっくりと設けました」。オープン5年目となり、「ショップスタッフから『こんな商品はどう?』と提案を受けることも多くなり、店頭にふさわしい商品の価値観を分かり合っている実感があります」

人的ネットワークをきつかけに、県外や国外で活動するデザイナーとのコラボレーションも進んでいます。

一例が、2017年春に誕生した自社ブランド『SEKISAKA』の商品。そこ、西武、ハースト婦人画報社、日本航空などが協賛する地域産業振興プロジェクト『ジャパンクリエイティブ』の一環

「お披露目はイタリアの国際家具見本市『ミラノサローネ』で、見本市のレベルや規模の大きさなど、これまで見ていた展示会と大きく違っていたのが驚きでした。デザインに関わる者にちゃんとしたステージを用意されていることを知ったという収穫もありました」。その後、東京や大阪のデザイナーと組んだ商品も生まれ、『SEKISAKA』ブランドは着実に育っています。

「新ブランドお披露目はイタリアの国際見本市」

「店」の運営は母と妹に任せているのですが、オープンの頃は大変だったと思つきますね。販売部門と言いつつ自社商品のほとんどない。開店前の半年ほどは、お店の方向性や取扱予定の商品を家族で共有する時間をじっくりと設けました」。オープン5年目となり、「ショップスタッフから『こんな商品はどう?』と提案を受けることも多くなり、店頭にふさわしい商品の価値観を分かり合っている実感があります」

人的ネットワークをきつかけに、県外や国外で活動するデザイナーとのコラボレーションも進んでいます。

一例が、2017年春に誕生した自社ブランド『SEKISAKA』の商品。そこ、西武、ハースト婦人画報社、日本航空などが協賛する地域産業振興プロジェクト『ジャパンクリエイティブ』の一環

「お披露目はイタリアの国際家具見本市『ミラノサローネ』で、見本市のレベルや規模の大きさなど、これまで見ていた展示会と大きく違っていたのが驚きでした。デザインに関わる者にちゃんとしたステージを用意されていることを知ったという収穫もありました」。その後、東京や大阪のデザイナーと組んだ商品も生まれ、『SEKISAKA』ブランドは着実に育っています。

「今も漆器製造が軸であることは変わらないですが、販売部門展開、自社ブランド開発と合わせて業務のバランスをとっていければ。何が正解かは分かりますが、社名を変えてはありますが、社名を変えたことで漆器分野に限らないことを描いています」

「今も漆器製造が軸であることは変わらないですが、販売部門展開、自社ブランド開発と合わせて業務のバランスをとっていければ。何が正解かは分かりますが、社名を変えてはありますが、社名を変えたことで漆器分野に限らないことを描いています」

「お披露目はイタリアの国際家具見本市『ミラノサローネ』で、見本市のレベルや規模の大きさなど、これまで見ていた展示会と大きく違っていたのが驚きでした。デザインに関わる者にちゃんとしたステージを用意されていることを知ったという収穫もありました」。その後、東京や大阪のデザイナーと組んだ商品も生まれ、『SEKISAKA』ブランドは着実に育っています。

「お披露目はイタリアの国際家具見本市『ミラノサローネ』で、見本市のレベルや規模の大きさなど、これまで見ていた展示会と大きく違っていたのが驚きでした。デザインに関わる者にちゃんとしたステージを用意されていることを知ったという収穫もありました」。その後、東京や大阪のデザイナーと組んだ商品も生まれ、『SEKISAKA』ブランドは着実に育っています。

「お披露目はイタリアの国際家具見本市『ミラノサローネ』で、見本市のレベルや規模の大きさなど、これまで見ていた展示会と大きく違っていたのが驚きでした。デザインに関わる者にちゃんとしたステージを用意されていることを知ったという収穫もありました」。その後、東京や大阪のデザイナーと組んだ商品も生まれ、『SEKISAKA』ブランドは着実に育っています。

CASE 1 新ブランド展開に意欲、老舗漆器業の挑戦

株式会社セキサカ

業務用漆器を軸に展開する株式会社セキサカは、約300年の歴史を誇る漆器メーカー。約4年前、生活雑貨セレクトショップをオープンしたのを機に、県内外のクリエイターと組んで新ブランドを立ち上げるなど新たな取り組みを行っています。開店の経緯や今後のビジョンなどについて、代表取締役の関坂達弘氏に話を聞きました。



代表取締役 関坂達弘氏



株式会社セキサカ
https://sekisaka.co.jp/

本社/鯖江市片山町3-53
直営店/越前市赤坂町3-22-1
代表者:関坂達弘氏
事業内容:業務用漆器、木製漆器の卸・製造・販売、OEM製造
TEL:0778-65-0009(本社)、0778-43-0009(直営店)

「701年創業という本社は、先代で現会長の芳雄氏が2005年に始めた販売部門『与十郎』リニューアルに向けた準備を進めた関坂氏。漆器中心のライオンナップを一般に扱うセレクトショップへ転換するという計画でしたが、店舗運営はまったくの未経験。学生時代や前職などを通じて培ったネット



「作り手の考え方に触れたい商品を見極めたい」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

「与」の訓読みや、「福井、今立、河和田などをつなぐ窓(ウインドウ)のような存在になれば」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

「作り手の考え方に触れたい商品を見極めたい」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

「与」の訓読みや、「福井、今立、河和田などをつなぐ窓(ウインドウ)のような存在になれば」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

「作り手の考え方に触れたい商品を見極めたい」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

「与」の訓読みや、「福井、今立、河和田などをつなぐ窓(ウインドウ)のような存在になれば」という思いを店名に込めました。

店内には、漆器、陶器、衣類、CD、インテリア雑貨など、漆器製造を軸にする企業

魅力ある工芸の未来を創り出すために伝統工芸産地では、新しい取り組みが始まっています。

来たれ若人、ものづくりのまちへ

RENEW/2019

日時:2019年10月12日(土)~14日(月・祝) 10:00-17:00 (ナイトイベントあり)
会場:福井県鯖江市・越前市・越前町全域
総合案内:うるしの里会館(福井県鯖江市西袋40-1-2)

「RENEW (リニュー)」は、福井県鯖江市・越前市・越前町で開催される、持続可能な地域づくりを目指した工房見学イベントです。会期中は、越前漆器・越前和紙・越前打刃物・越前筆筒・越前焼・眼鏡・繊維の7産地の工房・企業を一斉開放し、普段出入りできないものづくりの現場に訪れ、工房見学やワークショップ、ショッピングなどを体験いただけます。見学やワークショップを通じて、一般の人々が作り手の想いや背景を知り、技術を体験しながら商品の購入を楽しめます。



まち/ひと/しごと

— Localism Expo Fukui 2019 —

「まち/ひと/しごと -Localism Expo Fukui-」とは、「ものづくり・食・教育・福祉・コミュニティ・IT・防災」といったキーワードで、全国のローカル経済圏で行われている社会的意義の高い活動を紹介する、ショップ型の博覧会です。2回目の開催となる今回も、全国からローカルプレーヤーが集い、展示・販売・トークイベント・ワークショップを通して、当事者から直に想いやストーリーを聞きながら、これからの地域のあり方、暮らしのあり方を捉え直し、これからの「生きる」について考えます。

会期:2019年10月11日(金)~14日(月・祝)
10:00~17:00 (最終日は16:00まで)

会場:うるしの里会館 産業振興交流ホール
(福井県鯖江市西袋町40-1-2)

まち /
ひと /
しごと
Localism Expo Fukui

福井移住EXPO

福井県丹南エリアは、全国から職人やデザイナーが集う「ものづくりを志す若者が目指すまち」。移住EXPOでは移住を志す方や、関係人口の増加を目指す方へ気づきをつくるトークイベントを開催します。

産地の師弟トークセッション 予約不要

ものづくりの世界に飛び込んだ若者と師匠とのトークセッション。数々の悩みを乗り越えてきた四人に、ものづくりのリアルを尋ねます。

日時:2019年10月12日(土) 17:30~19:00

場所: PARK (福井県鯖江市河和田町19-1-7)

登壇者: 内田徹・嶋田希望 (漆琳堂) / 小柳範和・若月寛人 (小柳筆筒)



「工芸合説2019」プレトークイベント 予約不要

ものづくりで生きる。このまちで働くおもしろさとは? 必要なスキルとは? 採用を考える三社によるトークイベントを開催します。

日時:2019年10月12日(土) 19:20~20:50

場所: PARK (福井県鯖江市河和田町19-1-7)

登壇者: 土田直東 (土直漆器)
吉川精一 (KISSO)
新山直広 (TSUGI)



RENEW
初の試み
です!

CASE 2

“次”の時代に向けて、“継ぎ”、“接ぐ”

TSUGI LLC.



直営店の設置や海外に向けて販路開拓をすすめるなど、伝統工芸業界で始まっている市場開拓や担い手獲得に向けた新しい動きについて、大阪から鯖江市に移住し、2015年にデザイン事務所「TSUGI LLC.」を設立した新山直広氏にお話を伺いました。



新山 直広氏

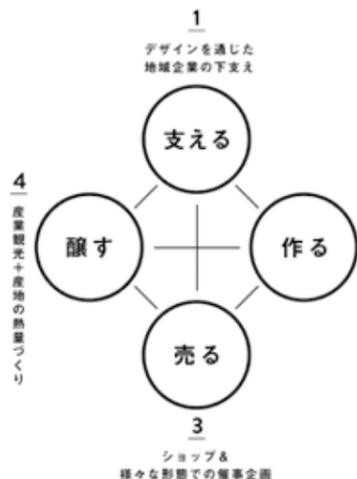
TSUGI LLC.
https://tsugilab.com/

所在地:鯖江市河和田町19-8

代表者:新山 直広氏

事業内容:デザインを通じた価値提案、プロデュース、コンサルティング、商品の企画、製造、販売イベント、カルチャースクールの企画運営 など

TEL 0778-65-0048



「創造的な産地をつくる」ために、TSUGIが取り組んでいるのが「支える・作る・売る・醸す」という4つを「支える」では、ブランディング

「支える・作る・売る・醸す」

「創造的な産地をつくる」ために、TSUGIが取り組んでいるのが「支える・作る・売る・醸す」という4つを「支える」では、ブランディング

創造的な産地を作る

支援を通じて産地企業をデザイン面からサポートして、地方でデザイナーとして活動するためには「販路」や「流通」まで案内できないといけないと感じ、まずは自らが実践してみせることが必要との判断から、自社ブランドの商品を「作り」、自らが「売る」ところまで責任をもって行っています。販売では、全国の商業施設で期間限定で販売する行商型ストア「SAVASTORE」にて、自社商品のほか、支援した商品なども販売し、顧客の反応作り手にフィードバックすることとさらなる支援に繋がっています。最後の「醸す」は、「産地の熱量づくり」をテーマに、「RENEW」という工房見学イベントを実施。これからは通年型の産業観光の構築などを目指し、



取り扱っている商品(一部)



工房見学エリア

「一人が鯖江に移住した時は本当に孤独で寂しかったです。地方で頑張る活動している人たちも少なからず孤独を感じています。そんな人たちが一堂に集まると、当然のように繋がろうとしますし、そこから新たな商品や販路が生まれるわけです。」

「最近、伝統工芸産地に直営店を置くところが増えてきました。消費地と生産地にはデザイン需要の違いがありますが、ソーリスストアをはじめ、私たちはその間に入り、地域別にいく新しいデザイン事務所像を目指していきます。」と新山氏は意気込みを語りました。

自分の経験、考えをもとに...

CASE 3 若狭工芸の 新たな発信地になる

若狭の空と海とものづくり

ライフスタイルの変化とともに市場が先細り、職人の高齢化、担い手不足・後継者不足に陥っている伝統工芸業界。その一方で始まっている市場開拓や担い手獲得に向けた新しい動きについて、今年4月に若狭町で陶芸工房「若州窯」を創業し、「若狭の空と海とものづくり」というグループの代表を務める飛永なを氏にお話を伺いました。



飛永 なを氏



古民家が並ぶ一角にお店を構える

若狭の空と海とものづくり

<https://www.facebook.com/wakasamonono/>

所在地:三方上中郡若狭町熊川21-8
代表者:飛永なを氏
事業内容:窯業・土石製品製造業
TEL 0770-50-7969

若狭を盛り上げる

「若狭の空と海とものづくり」
若狭の工芸業界は、知名度が低くしかも後継者不足であるという深刻な状況であり、特に若狭工芸の1つである「若狭めのう」の職人は一人しかいないという深刻な状況に陥っています。そこで立ち上がったのが窯元「若州窯」代表の飛永氏です。若狭のものづくりをもっと盛り上げたい、海外に向けても広げたいという想いで決意し、「若狭の空と海とものづくり」というグループを結成しました。

若狭で新しい風が吹く

若狭の工芸業界は、知名度が低くしかも後継者不足であるという深刻な状況であり、特に若狭工芸の1つである「若狭めのう」の職人は一人しかいないという深刻な状況に陥っています。そこで立ち上がったのが窯元「若州窯」代表の飛永氏です。若狭のものづくりをもっと盛り上げたい、海外に向けても広げたいという想いで決意し、「若狭の空と海とものづくり」というグループを結成しました。

世界へ発信の大きな一歩

2019年4月、当ブランドが近畿経済産業局の販路開拓支援事業**に選定され、2019年9月にフランスのパリにて展示販売をすることが決定しました。「若狭工芸発信のために一歩一歩しっかりと進んでいきたいです。特にパリは日本文化が好きで日本人以上に大事にしてくれる。好きゆえに厳しくもしっかりと評価してくれるのでより一層商品に磨きがかかり、作り手のモチベーションを高めてくれます。」と飛永氏は海外

**~Challenge Local Cool Japan in Paris 第3弾~

ここからスタートです!

陶芸家としての20年のキャリア、陶芸の講師や外国人陶芸家のワークショップに参加した経験がある飛永氏。今後は新たなコラボ商品の制作はもちろん、「熊川宿」という国内外の観光客が訪れる地の利を生かして体験教室や合同イベントも企画し、今回の販路開拓を筆頭に若狭の工芸をどんどん発信していくという。また、若狭工芸に魅力のある事業にすべくグループを法人化して、職人を支援できる体制を整備していくそうです。



選定された「一歩〜IPPO Japan〜」の一部

福井のものづくりとデザインを体感できる小さな複合施設

TOURISTORE (ツーリストア)

TOURISTOREは、2019年4月にTSUGI LLC.の隣にオープンした小さな複合施設です。施設内にはショップ・漆器工房・観光案内所・デザイン事務所・レンタサイクルが入り、福井のものづくりとデザインの「いま」を体感できます。

TOURISTOREの名前は「TOURIST」と「STORE」を合わせた造語。福井のものづくり旅の発信地として、狭義の観光に留まらず様々な関係性が生まれる場所として、作り手と使い手の関係を紡ぎます。ものづくりの現場や人々に出会うことで、この地から生まれる「できごと」が旅人にとっての「自分ごと」になるような場を目指します。



オンラインでも営業中!!



TOURISTORE内には、...



SAVA!STORE 買う

デザインとストーリーが優れた福井のグッドプロダクトが揃うスーベニアショップ。お土産店の領域を超えた新しいコミュニケーションの場として、作り手と使い手をつなぎます。
営業時間: 12:00~18:00 (土日は11:00~18:00)
定休日: 火・水



錦古里漆器店 買う 見学 体験

角物塗師の兄弟が営む老舗漆器工房。常時見学できる工房では漆器の背景を学ぶことができます。またデッドストック品の販売や、漆塗りが体験できるワークショップも開催します。
営業時間: 9:00~17:00

ワークショップのご予約はこちら



Craft Invitation 観光案内

福井のものづくりを紹介する私設観光案内所。独自の視点で選んだ場所をリアルとウェブで伝えます。また直営店同士をつなぐハブとして、作り手とデザイナー/バイヤーをつなげます。
営業時間: 12:00~18:00 (土日は11:00~18:00)
定休日: 火・水



URUSHI BIKE by tokyobike 観光

漆器産地ならではの漆塗り自転車のレンタルサービス。越前漆器の老舗「漆琳堂」と人気ブランド「TOKYOBIKE」のコラボで生まれた、TOURISTORE別注モデルで産地巡りが出来ます。
営業時間: 12:00~18:00 (土日は11:00~18:00)
定休日: 火・水



TSUGI デザイン事務所

産地に特化したデザイン事務所。デザインワーク以外に自社ブランド「Sur」をはじめ「SAVA!STORE」「RENEW」の運営など、創造的な産地づくりを実践しています。
営業時間: 9:00~18:00
定休日: 土・日

今月の 注目企業



森川 嘉子氏 代表取締役 森川 英樹氏

レースの既成概念を覆す、 オリジナルブランドを創作

有限会社森川レース

女性服に用いられるアウターレースを製造する、有限会社森川レース。1963年の創業以来、主にレース生地の受注生産に携わってきましたが、2019年2月から新しくテキスタイルブランド『andante.』の運営をスタートさせました。レースの既成概念を覆すオリジナルヴィンテージレースづくりに込められた思いと今後の展望を、代表取締役の森川英樹氏と公私にわたるパートナーである森川嘉子氏に伺いました。

大量生産から脱け出す 次の一手を探し求めて

デニムやカモフラージュ（迷彩）などをモチーフにした意匠やカラーリング、風合いで、「エレガントな意匠で、主に女性に使われる透けた生地」というレースの先入観を越える『andante.』。例えば摩擦でほつれた刺し子生地など使い込まれた古びたものの中に見出す日本の伝統的な感覚をベースに、ヴィンテージ生地のようなボーダーレースかつジェンダーレスなラインアップを取り揃えています。

『andante.』のスター

トは、昨年2月、テキスタイルデザイナー梶原加奈子氏との出会いに遡ります。森川氏は2016年に「世界のものづくりのスピード感についていこう」と考え、最新コンピュータ制御による大型編み機を導入し、現在地に本社を移転します。しかし、ボタンひとつで簡単にハイスペックなレースを高速でつくる編み機は中国及び東南アジア各国で導入が広がり、国内市場ではそれらと競合することとなり工賃はどん底の状況に。アウターレースの世界的な生産地だった北陸では、急激な淘汰が進みました。

次の一手を打つべく情報収集に奔走。あるとき梶原氏の講演会に参加し、直接話をする機会を得ます。そこで見てもらった手持ちの試作品のなかから、梶原氏はインディゴ加工を施したレースに着目。海外の大量生産品との差別化を図る、新ブランドの模索が始まりました。

古い編み機を改造して オリジナル自社商品を

森川氏は以前から大量生産に適した現在のサブライチェーンに限界と違和感を感じていたのと、もう一つ売り上げの柱となるものを探し始



「手に持った瞬間、『andante.』とわかってもらえる商品にしたい」と森川氏。

レースストールの企画・製造・販売を開始。TVショッピングにも取り上げられ大きな反響を得ます。「このとき最終商品まで仕上げると利益率が



職人の繊細な調整が必要で効率的ではないが、他では真似できない風合いが生まれる。

高いことを実感しました」と語ります。梶原氏が興味を示したレースも、その頃に手がけた試作品のひとつでした。その後、東京にある梶原氏の事務所を夫婦で訪ね、経営面も含めものづくりについてヒアリングを重ねることに。「そこで梶原さんから『レースはつくりません。頭の中にあるものを1回捨ててください』と言われたときは、『えっ?』と驚きました（苦笑）。そこから社員と一緒に、早さや効率化

を求めるこれまでの感覚をリセットし、発想を変える努力を続けていきました」と振り返ります。さらに、梶原氏は、同社にあるドイツ・カールマイヤー社の古い編み機に目を留めました。「スピードが遅く、マシントラブルは多いが、高速編み機と比べてやわらかい風合いに仕上がる」特徴を生かし、独自のカスタマイズを施すことになりました。

サステナブルな生地に 欧米のブランドが注目

レース編み機で「織物をつくろう」というキャッチフレーズのもと、森川氏は「織り味を効かせた」新しいテキスタイルづくりに挑戦。2020年までにレース生地の受注生産以外のもうひとつの柱とするべく、ものづくりに没頭します。

並行して、森川氏は福井県と連携した産業支援センターの「ふくいの逸品創造ファン」に応募。編み機の改造、ホームページの制作、展示の費用などを捻出します。今年2月には、イタリアの『ミラノ・ユニカ』に出展。50種類

のサンプルを持参したところ、オーガニックコットンとリサイクルナイロンを使ったカモフラージュレースが中央ブリスに展示され、欧米のブランド約50社がブリスを訪れたといえます。「欧米では、持続可能なサステナブルファッションが注目されています。その流れは、今後、日本にもくるでしょう」と森川氏。5月には国内最大の生地見本市『PTJ』に出展。国内メーカーを中心に引き合いがあり、新しいプロダクトが始まっています。

「今年9月には、中国の『インターテキスタイル上海』に参加する予定です。3年計画でテキスタイルブランドとしての認知度を広げ、最終的には『andante.』をアパレルブランドとして確立したい」と展望を語りました。



梶原氏のデザイン事務所とミーティングを重ねながら、次のトレンドを開発中。



有限会社森川レース

福井市川合鷺塚町39-1
代表取締役 森川英樹
事業内容：レース生地の製造
TEL: 0776-43-0177
https://www.morikawa-lace.com/
https://andante-japan.com/



『andante.』の編み機。日本に2台しかない1987年製ラッセルレース編み機を、独自にカスタマイズしている。

こんにちは!
FOIPです。

福井県の宇宙ビジネスへの挑戦

～宇宙産業への進出に向けたふくい宇宙産業創出研究会の取り組み～

〔公益財団法人〕ふくい産業支援センター
オープンイノベーション推進部 ネットワーク推進室

「ふくいオープンイノベーション推進機構(FOIP)と ふくい宇宙産業創出研究会」

平成27年4月の福井経済新戦略の改訂を受け、産学官金の叡智を結集して、県内企業のイノベーションを応援し、新産業や新技術を創出する仕組みとして「ふくいオープンイノベーション推進機構(FOIP)」を設立しました。具体的プロジェクトの一つとして「宇宙産業の参入促進」について進めています。また、県内企業の宇宙産業への参入を支援するため、平成27年9月に、「ふくい宇宙産業創出研究会」を設立しました。

FOIPとふくい宇宙産業創出研究会では、参画企業に対して、各種の宇宙産業情報・技術情報の提供、技術開発から販路開拓までの支援などを行っています。

(1)宇宙産業ビジネスの情報提供

研究会設立後、宇宙産業関連の先端企業やスタートアップ企業からキーパーソンを招聘し、世界や日本のビジネス動向などを情報提供しています。

(2)先端研究機関(東京大学等)との連携

東京大学の中須賀真一教授を福井県に招き、人工衛星設計基礎論として宇宙産業に取り組むための技術情報を体系的に学びました。また、東京大学の超小型人工衛星の製造現場に、県内企業の技術者が赴き、製造や運用の技術研修を実施しています。このほか、研究会参画企業をワーキンググループに分け、人工衛星製造実習にも取り組みました。



東京大学での技術研修の様子

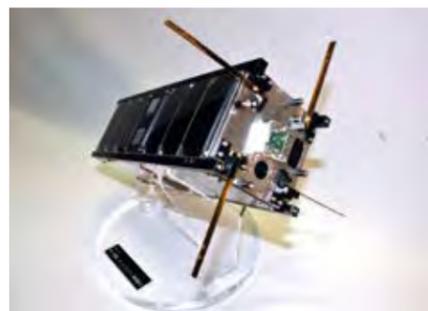
(3)リソース情報の提供

工業技術センターに整備した宇宙関連試験機の情報提供と、積極的な試験機の利活用を推進しています。また、福井工業大学の通信用大型アンテナの情報提供も行い、福井県の強みを活かしています。

(4)外部資金の活用と販路開拓支援

国や県の技術開発系外部資金の積極的な活用を推進しています。これまでに、超小型人工衛星の筐体設計技術、炭素繊維材料の宇宙分野への展開、超小型人工衛星の量産に向けた共通化部品(バス)の標準化などに取り組んでいます。

次世代標準化バス製造開発の取り組み



福井県で製造する超小型人工衛星エンジニアリングモデル(2U標準化バスを搭載)

工業技術センターでは県内企業および東京大学中須賀研究室と、超小型衛星の多数機生産に関する共同研究契約を結び、衛星の設計、製造、検証技術の高度化を図り、次世代標準化バスの開発に取り組んでいます。バス開発にあたっては経済産業省の平成29年度補正予算「グローバル・ベンチャー・エコシステム連携加速化事業費補助金(スタートアップファクトリー構築事業)」を活用しています。これらの結果、ルワンダ国向け衛星や東京大学の水推進エンジン実証衛星に、福井県で開発した20×10×10cmサイズ(2U)標準化バスを提供することに成功し、この秋、国際宇宙ステーションに向けて打ち上げのカウントダウンが始まりつつあります。

創業者・若手経営者の挑戦

Start a New Project

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通じ、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

Instance
17

元臨床検査技師が腸セラピストに転身 北陸初の「腸整セルフマッサージスクール」を開校

元臨床検査技師が腸セラピストに転身

うえせさんは臨床検査技師として地元の病院に16年間勤務しましたが、「検査やデータから人と関わるのではなく、直接、人と人とのふれあいを大切にしたい」という思いが募り、起業を志し退職。2016年9月、腸セラピーを行う専門サロンを自宅の一室でスタートさせました。サロンでは、腸の状態や生活習慣などをカウンセリングした後、マッサージ(腸もみ)を行います。継続的なイベント出店や口コミで着実にお客様を増やしていき、2017年5月には自宅から市之助一丁目に移転。念願のサロン専用店舗をオープンしました。

なかなか起業する踏ん切りがつかなかった

現在は精力的に活動しているうえせさんですが、「退職後、開業届を提出するまで実は3年かかった。手に職を持っている分、いざとなれば戻れるという甘えもあって、なかなか

起業する踏ん切りがつかなかった」と当時をふり返ります。転機は、退職後に健康診断のパートをしていた時でした。診断結果をドキドキしながら待つ人々の様子を見て、予防医学という観点から腸の大切さを広めたいという使命感がわき、「起業する覚悟を決めよう」と決意したのだそうです。

北陸初の「腸整セルフマッサージスクール」を開校

取材中も、自分自身の話よりも、腸の話をしている時間の方が長くなるくらい一生懸命な、うえせさんの挑戦はまだまだ続きます。「1人でも多くの方に腸セラピーを身近に感じてほしい」という思いから、2019年4月に北陸初の「腸整セルフマッサージスクール」を開校。サロンで個別に腸セラピーを行う傍ら、少人数制のスクールで、手軽にできる腸マッサージ(腸もみ)の方法を指導しています。「今後は健康経営アドバイザーの資格を取得し、企業に向けて従業員の健康管理についてご提案できれば」と抱負を語ります。



ちやうどのぬく
腸整 Nuku' Nuku
代表 うえせ ともえさん

<https://nukunuku.jp/>
所在地: 越前市高瀬1-4-32 市之助一丁目
TEL 070-4115-5327
E-mail info@nukunuku.jp

Instance
18

元プロ競輪選手がパーソナルトレーニングジムを開店 経験を活かしてアスリートのセカンドキャリア支援に意欲

元プロ競輪選手のキャリアを活かし起業

西畑さんはプロ競輪選手として20年間活動し、引退後は健康運動指導士として勤務するかたわら、専門学校で非常勤講師や地域総合型スポーツクラブのコーチなど、指導者として9年間の実績を積みました。

もともと独立心が強かったと話す西畑さんは、「プロ競輪選手時代に培ったトレーニング実践ノウハウと、引退後指導者として習得した知識を活かして、パーソナルトレーニングジムを起業したい」と一念発起。半年間の準備期間を経て、2016年12月、50歳の時にSPEXGYM(スペックスジム)を開店しました。

不安は感じて不思議と怖くはなかった

起業時はわからないことばかりで、支援機関や金融機関に何度も足を運び相談に及んだ西畑さんですが、「不安は感じて怖くなることは不思議となかった」と言います。

「子どもの頃から、やりたいと思ったことは『自分に出来ないことはない!』と

思える性格なので」と笑いながら振り返る西畑さんは、その言葉どおり、前向きな性格と持ち前の行動力を活かして着実に売り上げを伸ばし、起業後ほどなく経営を軌道に乗せていったのでした。

アスリートのセカンドキャリア支援に意欲

そんな西畑さんの元には、岐阜・三重・京都など、県外から元競輪選手が多数見学に訪れるといいます。「引退後、現役時代に培ったスキルをセカンドキャリアに活かせずに、仕方なくサラリーマンをしているというアスリートが大勢いる。多数の見学者を迎える中で、そんなアスリートのサポートがしたいと考えるようになった」と話す西畑さん。2019年4月にはスペックス株式会社を設立。パーソナルトレーニングジムを継続しながら、将来へ向けてアスリートの引退後のセカンドキャリア支援事業に取り組んでいきたいと意欲を燃やします。



SPEXGYM
代表 西畑 満純さん

<https://spexgym.com/>
所在地: 福井市定正町1311
TEL 090-8967-8337
E-mail spexgym@gmail.com

儲かる会社になるミニセミナー

経営支援の専門家（中小企業診断士）が
儲けるコツを伝授します

受講
無料

儲かる会社になるために、特別な能力は必要ありません。

なぜなら、必要なのは才能ではなく、基本知識だからです。

数字に苦手な方も、アドバイスを実践し改善につなげています。

「忙しいのに、なかなか手元にお金が残らない...」とお思いの経営者の皆様へ、
経営支援の専門家がすぐに実践できる「儲けるための考え方」を助言します。

ミニセミナー1 今日からわかる。明日からできる。「儲けるための考え方」(60分)

たった5つの質問で作れる『お金のなる木チャート』を使うことで、明日から実践できる「儲けの一手」が見えてきます。「忙しいのに、儲からない...」そんな方におすすめのセミナーです。
(より踏み込んだアドバイスを行うため、できましたら直近期の決算書をお持ちください)

ミニセミナー2 儲かる値段の決め方とは(60分)

「他社よりも安いのに売れない」「売っても売っても、手元にお金が残らない」
そうした商品・サービスは、値段の付け方や見積りの仕方に問題のある可能性があります。値決めの基本的な考え方を学ぶことで、儲かる販売戦略を考えます。

ミニセミナー3 目からウロコの業務改善(60分)

ものづくり改善インストラクターとして、いくつもの工場を見てきた生産現場
改善のプロが、業務改善のヒントをズバリ指摘します。製造現場や工場はもちろん、
事務所の改善も大歓迎です。

(当日は、改善したい場所の写真をお持ちください)



担当講師： ^{まつた ひろし} 松田 博史

中小企業診断士、
福井ものづくり改善インストラクター

セミナー開催日

嶺北	日時：令和元年10月9日(水)、10月23日(水)、11月13日(水)、11月27日(水) ①9:00~10:30 ②10:30~12:00 ③13:00~14:30 ④15:00~16:30
	場所：坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 福井県産業情報センタービル 3階
嶺南	日時：令和元年10月10日(木)、10月17日(木)、10月24日(木)、11月7日(木)、11月28日(木) ①9:00~10:30 ②10:30~12:00
	場所：嶺南サテライトオフィス（敦賀市神楽町2丁目2-4 アクアトム2階）

総合相談窓口 [相談無料・事前予約制]

お申し込み・お問い合わせ
毎週月曜～金曜（休日・祭日を除く） [嶺北] 9:00～17:00 / [嶺南] 9:00～12:00
TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい Q 検索

※左記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。
まずはお気軽にご連絡ください。



2018年度グッドデザイン賞 / 福井市総務部未来づくり推進局まち未来創造室
次代のデザイナーのための教室 [XSCHOOL]



2016 年秋、福井市に開校した、次代のデザイナーのための小さな教室 XSCHOOL。全国各地から集まる
デザイン・編集・金融・保育など専門性の異なる受講生約20名が、約120日間、福井に通い、文化や風土を紐解き、
社会の動きを洞察しながらプロジェクトを創出。また講師陣、地元企業が伴走し、「あらゆる分野・枠組みを
超え、多角的な視点から、新たな価値を生み出す力」「関係性を生かしてプロジェクトを実現する力」を育ん
でいます。これまで生まれた未来に問いを投げかけるプロジェクトの数々、そのプロセスは、多くの人の心を
動かし、福井のまちに「新たな人の流れと仕事」「地域を超えた関係性」をつくりだしています。今年も開講予定。

【DATA】

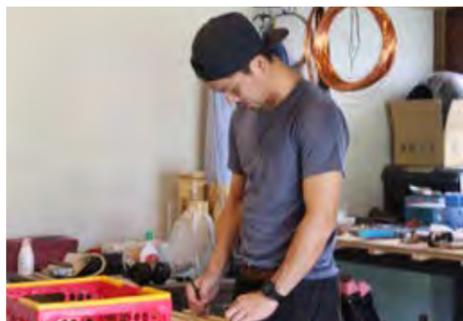
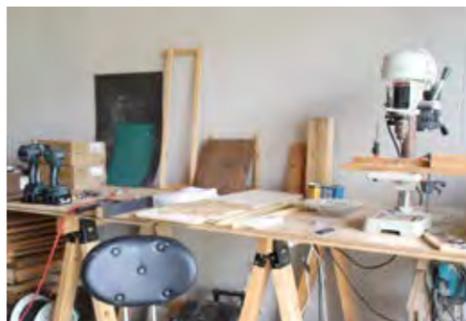
- 受賞企業 株式会社リ・パブリック(東京都)
株式会社 福井新聞社(福井県)
- プロデューサー 株式会社リ・パブリック 内田 友紀、田村 大、白井 瞭
株式会社 福井新聞社 林 明美、宮下 浩一
- ディレクター UMA/design farm 原田 祐馬
MUESUM 多田 智美
株式会社リ・パブリック 内田 友紀
- デザイナー 萩原 俊矢
高橋 孝治
UMA/design farm 原田 祐馬、西野 亮介
MUESUM 多田 智美、永江 大、妹尾 実津季

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 岩佐 十良 伊藤 香織 太刀川 英輔
並河 進 服部 滋樹

狭義のデザイナーにとどまらず幅広い専門性をもつ参加者が、より良い未来に向けた新たなデザインを創出するスクール。福井の資源・技術・文化に学び、行政や地元産業と連携して、地域に発信しながら事業化に取り組む点で、地域が人材育成のゆりかごとなり得ていると言える。デザインに関するスクール形式の取り組みは各地で増えているが、構想で終わることも多い。それに対して、ここでは実際に事業化されている実績に対する評価が高かった。

【2019年度の情報】 <http://makef.jp/xsxs2019/>



話題の

新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.09

竹之助

竹を使って、日常に非日常を。

2015年4月、越前市にオープンした竹工房「竹之助」が今年の7月に店舗をリニューアルオープンしました。

代表の片岡大輔氏は京都で11年間修行した竹垣職人で、その中で銀閣寺や伏見稲荷、清水寺の二年坂など京都有数の名所の竹垣制作に携わるなど確かな経験と実績のある職人です。現在でも月の半分は京都で竹垣制作をしています。

店舗兼工房は、越前市の味真野小学校付近に位置しています。店内は美しい竹垣が展示され、間近でその重厚な質感に触れることができ制作依頼も可能です。また、店舗の半分は竹製品がずらりと並び可愛い竹雑貨や洗練されたデザインの竹アイテムを購入することができます。竹垣と竹アイテムの専門店とする事で、竹の需要と認知度が低い福井県に竹の魅力を伝えたいという想いが込められています。

竹を使用したアイテムで代表的なものが竹製スピーカー「i3booo」です。何気ない日常の空間の片隅に置くだけで「和」の空間を創り出す、「現代の鹿威し」として注目を集めています。

「将来的には竹を使って街並みを変えたい。竹垣は視線を遮る壁では無く、目と心を奪う素敵なエクステリアだと思います。車社会の福井県において、ロードサイドをモダンに彩る竹垣達、そんな竹垣の佇まいに惹かれて思わず立ち寄りてみようと思わせる、そんな竹垣でいっぱい街並みにしたいです」と意気込みを語ってくれました。

活用事業：平成30年度創業支援事業(実施中)

ご来店やお問い合わせ
お待ちしております!

竹之助

<https://takenosuke.com/>

越前市池泉町2-9

TEL:0778-42-5576

FAX:0778-42-5517

営業日:土曜日~月曜日

営業時間:10:00~17:00

※電話での対応は随時可能です。

ご紹介するのはこちらの講座

ホームページ デザインの基礎

募集中

～デザインの基礎を守って、
伝わるウェブサイト～

日時：令和元年10月8日(火)

13:00～17:00

会場：福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

受講料：4,300円(消費税抜き)

講師：フォルトウナ 坂本 邦夫 氏

《昨年の受講者の声》

- ・デザインや色彩、フォントについて細かく学べる機会がなかったので、勉強になりました。
- ・ホームページだけでなく、他のデザインにも当てはまることが多く、今後役立ちそう。
- ・会社のHPの見直しや打ち合わせ時に参考になりそうです。

—いろいろな会社のHPを見ることがありますが、見やすさや使いやすさってサイトによって結構まちまちですよね？

私は常々、「デザイン＝思いやり」だと思っています。相手(見る人)を思ってデザインすれば、きっといいデザインになります。とはいえ、やはりWebデザインには基本となる原則があるものです。この講座では、レイアウトの基本や色のこと、文字のこと、画像のことなど、Webサイトを構成する一つ一つの要素について、基本になる知識を丁寧にお伝えしていこうと思っています。

また、スマホやタブレットが当たり前の今ですから、モバイル対応の「レスポンスウェブデザイン」もとても重要になっています。読みやすく、目的のページにたどり着きやすいサイトをデザインできるよう、たくさんのヒントをご用意していますよ。

—どんな方に聞きに来てほしい講座ですか？

Webサイトに関わる全ての方に知っていただきたい内容ですね。普段からHP制作に携わっている方はもちろんです

「IT」教えて先生!

～新人IT研修担当者が聞いてみました～

(公財)ふくい産業支援センターでは県内中小・個人事業者の皆さま向けに、IT研修を開催(年間約80回)しています。これから開催される注目の講座について、新人IT研修担当者が講師にお聞きしました。

ホームページ制作に関わる全ての方へ Webデザインの原則を学んでみませんか？

教えてくれるのはこの人

フォルトウナ

坂本 邦夫 氏



色彩のホームページへの応用方法をまとめた「基礎からわかるホームページの配色」を2004年に公開。以後、ホームページの制作・コンサルティングを主な業務として活動。著書『ウェブ配色 決める!チカラ 問題を解決するコミュニケーション』(ワークスコーポレーション)など。

が、これから自社の新しいページを立ち上げようと考えている方にもおすすめです。

また、今あるサイトの改修を考えている方もぜひどうぞ!事前に貴社のウェブサイトのURLをお伝えいただければ、講座内で改善点をお伝えする簡易的なサイト診断・チェックもさせていただきます。

—私自身はHPを作らないのですが…なんて人でも大丈夫？

外部のHP制作会社に依頼しようと考えている人であっても、Webデザインの基礎を知っていると知らないのとでは、完成したHPに大きな差が出るものです。

講座では、制作に入る前に知っておきたいポイントということで、「サイト設計」の段階から詳しく解説していきます。サイト設計はとても重要で必要不可欠です。ここをおろそかにして前に進むと、一から作り直しになる場合もあり、逆に遠回りという結果になってしまうこともあるくらいです。これらのように、外部との上手な依頼方法や進め方、イメージの共有の仕方などぜひ学んでいただきたいですね。

お申し込み
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL:0776-67-7411 E-mail:pckouza@fisc.jp
お申込みはホームページ <http://www.fisc.jp/pckouza> から

情報化人材育成事業
IT研修

正職員採用試験のお知らせ (令和2年4月1日採用)

採用予定人数および職務内容

職 種	企業経営支援職員
採用人員	若干名
採用年月日	令和2年4月1日
職務内容	県内中小企業に対し、経営全般(新事業展開・商品開発・販路開拓・IT活用・人材育成など)についての各種支援を行う業務および一般事務。
勤務地	公益財団法人ふくい産業支援センターの各事務所(福井市・坂井市)

試験日《第1次試験》

日 時	令和元年10月27日(日) 午前9時00分～
試験会場	福井県産業情報センタービル (坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)
試験内容	センター職員として必要な一般知識、知能、判断力および理解力等について、択一式による筆記試験(大卒程度:2時間)および職務遂行上必要な素質および適性を有するかどうかについての検査(20分)を行います。

受験手続および受付期間

採用試験申込書による応募が必要です。また、採用試験および申込方法等の詳細につきましては、採用試験案内に記載しておりますので、ホームページ (<http://www.fisc.jp>) より採用試験案内および採用試験申込書をダウンロードし応募してください。

応募期間は令和元年9月2日(月)から令和元年10月11日(金)までです。

申込方法	「採用試験申込書」に必要事項を記入し、福井県産業情報センター4階の総務部まで持参もしくは郵送により受付期間内に提出してください。 ■郵送による提出 封筒の表に「採用試験受験」と朱書きし、必ず書留郵便にしてください。 令和元年10月11日(金)までの消印のものに限り受け付けます。(10月8日(火)以降の郵送は、速達書留にしてください。)
申込先	公益財団法人ふくい産業支援センター 総務部 〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル4階)
受付期間	令和元年9月2日(月)～ 令和元年10月11日(金)＜消印有効＞ (ただし土曜日・日曜日・祝日は除く。) 受付時間は午前8時30分から午後5時15分まで

ふくいITフォーラム関連セミナー

問題解決のために 高速で簡単、
美しいデータ分析を誰もが出来る
BIツールの紹介

日 時 ●10月25日(金) 14:00～15:00
会 場 ●福井県中小企業産業大学校
1階 特別教室
講 師 ●Tableau Japan 株式会社
パートナー・デベロップメント
マネージャー 柿沼 弘道氏
主 催: 福井県IT産業団体連合会
後 援: 北陸情報通信協議会



Zoomを活用した働き方改革の事例

日 時 ●10月25日(金) 15:30～16:30
会 場 ●福井県中小企業産業大学校
1階 特別教室
講 師 ●NEC ネットエスアイ 株式会社
ビジネスデザイン統括本部 エンパワード
オフィス推進本部 プロモーショングループ
プロモーショングループマネージャー
大類 亨氏
主 催: 福井県IT産業団体連合会
後 援: 北陸情報通信協議会



お問合せ・お申込み先

福井県IT産業団体連合会
TEL 0776-50-2533 URL <http://www.e-fas.net>

当センター理事長就任のご挨拶



公益財団法人ふくい産業支援センター
理事長 東村 健治

日頃より当センターの運営にあたりまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。
令和元年8月1日に開催されました、本法人臨時理事会におきまして理事長に就任いたしました。身にあまる重責ではありますが、福井県産業の発展に全力を尽くし、皆様のご期待に添うよう努力いたします所存です。

さて、当センターでは、国の施策や県が本年3月に再改訂しました「福井経済新戦略」に基づき、他の産業支援機関等としっかりと連携しながら、様々な施策に取り組んでいるところですが、近年は経営環境の変化も激しいことから、事業の見直しや拡充、新たな事業の追加などを図りながら、総合コンサルティング機関として新しい取り組みに挑戦する企業のニーズに合わせた支援を行ってまいります。

今後とも、福井県産業の中核的支援機構としての誇りと責任を持ち、個々の力を結集した活動を行うことで、可能性あふれる企業の皆さまとともに、活力ある未来を創造していく所存ですので、皆様におかれましても一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

夢をカタチにする第一歩

女性のための創業セミナー

～創業の現状とアイデアの固め方～

令和元年
10月16日(水)
19:00～21:00
参加費無料
スイーツ飲み物付き

会 場 福井県信用保証協会 会議室
定 員 15名
対 象 者
・創業を目指す女性
・創業に興味がある女性
・創業して間もない女性

プログラム 19:00～19:50 *講演 中小企業診断士 佐々木 孝美氏
・創業の現状
・創業のチェックポイント
・事業概要を考えよう
20:00～ *先輩女性起業家のリアル体験談を聞こう
*交流会

お問合せ 福井県信用保証協会 女性支援チーム「つぐみ」
Tel 0776-33-8311 Fax 0776-33-8310
<https://www.cgc-fukui.or.jp>

新聞記事から集めた 県内企業の新商品・新規事業

■ 収集期間：令和元年7月1日～元年8月30日

■ 収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

食料品／飲料

歌舞伎の女形で人間国宝の坂東玉三郎さんが同社と提携し、自らの名称を冠した日本酒「BANDOS・SARI」をつくりあげた。県内の代表的な銘柄を味わい、自らの美意識に合う蔵元を選択した。	毛利酒造（福井市）
日本酒「梵」を製造する同社は2年後をメドに新工場を建設し、生産能力を5倍に引き上げる。輸出先が世界102か国に広がっているほか、中国でネット通販を始めるなど、海外販売が好調で、受注に対応しきれなくなっているため。	加藤吉平商店（鯖江市）
清酒の最上級カテゴリーに分類される純米大吟醸を醸造した際にできる酒粕を原材料に使用した焼酎「イチジクの葉、風そよぐ」を商品化した。焼酎を通して酒粕の新たな楽しみ方を提案したいという。	一本義久保本店（勝山市）
ごま豆腐など製造販売の同社は、直営店「幸家」（同町京善）のレストランで新元号にちなんだ「令和御膳」の販売を開始した。「料理を通じて、万葉集ができた時代の風情や現代とのつながりを感じてもらいたい。」としている。	幸伸食品（永平寺町）
食品製造販売、料理店経営の同社は福井市御幸4丁目に初の弁当専門店「ごちそうー乃松」を開店した。同社経営の料亭の料理人が監修したこだわりの弁当を揃える。同市内で宅配もしている。	一乃松（越前市）

繊維／衣服

一般公開している自社の工場にカフェ「g café.（ジー・カフェ）」をオープンした。地域住民や見学に訪れた人たちに憩いの場や、ものづくりグループのワークショップの場として交流拡大を図る。	柳澤織ネーム（坂井市）
自分だけの1着を作ることが出来る女性向けのパーソナルオーダーブランド「ビスコテックス メイク ユア ブランド」の新店舗を、百貨店のジェイアール名古屋タカシマヤ店に開設する。	セーレン（福井市）

眼鏡

スタジオジブリの人気アニメ「天空の城ラピュタ」の登場人物のサングラスとゴーグルが、同社の技術で眼鏡として再現・販売された。商品化したのは、主人公の少年バズー愛用のゴーグルをアレンジした眼鏡フレームと、敵役であるムスカ大佐のサングラス。	エクセル眼鏡（鯖江市）
眼鏡枠企画製造販売の同社は東京銀座に同社のブランド発信拠点となる直営ショップ「シャルマン 銀座並木通り」をオープンする。同社唯一の直営店となり、海外ブランドショップが集中するエリアへの出店である。	シャルマン（鯖江市）

建設

くいと建物の基礎をつなぐ部材を地下方向に長くすることで耐震性能を上げ、くい自体を細くしたりくいにつける鉄筋の数を減らしたりできる、くい打ちの新工法を開発した。	三谷セキサン（福井市）
---	-------------

その他の製造業

プラスチックごみによる海洋汚染が大きな問題となる中、業務用漆器総合メーカーの同社は、洗って繰り返し使えるストローを開発し、販路を広げている。清潔に洗うのに役立ててもらうため、超音波の洗浄機や専用ブラシも開発した。	福井クラフト（鯖江市）
建築用鋼構造物設計・製造の同所は大野市陽明町2丁目に社屋を新築移転、同市庄林に庄林工場を新築した。現在の同市中挾2丁目の社屋が手狭になったことと、この1、2年で大手の住宅や物流メーカーからの受注が増えているため、本社工場に加えて製造拠点を2つにした。	遠藤鉄工所（大野市）
高性能断熱材に遮熱性を持たせた新商品「フェノバボード遮熱」を発売した。主に住宅の屋根への使用を見込み、ハウスメーカーや小売店などに売り込む。	フクビ化学工業（福井市）
学生服製造・卸売業の同社は、3店舗目となるランドセル・学生服専門店「イクラボやしろ店」を福井市洲4丁目にオープンした。同店にはミシンやアイロンを備えた縫製加工スペースも設けた。	山耕（越前市）
教育用品製造販売の同社が、県工業技術センター、福井経編興業（福井市）と共同で、幼児教育向けの吸音性のテント型教具「カルム」を開発した。吸音パネルなどは幼稚園などでも使われているが、遊びの環境に溶け込める吸音性の教具は全国初である。	ジャクエツ（敦賀市）
中学硬式野球の鯖江ボーイズ出身でプロ野球オリックスの主砲として活躍する吉田正尚選手を応援しようと、鯖江市は地場産業のものづくり技術を生かしたオリジナルグッズを製作した。製作には同市漆器生地・木製雑貨製造業の「ヤマト工芸」が担当した。	ヤマト工芸（鯖江市）

商業／サービス

アウトドア向け各種用品、ウェア販売の同社は、キャンプ・アウトドア分野で北陸最大級の店舗「ザ ゲート バイ サンデーマウンテン」を福井市定正町にオープンした。	カンパネラ（坂井市）
男性用衣料品インターネット販売の同社は、オシャレのコツを対話形式紹介する書籍「正解の服、教えてもらいました。」を発売した。通販サイト内にある「オシャレの教科書」にはこれまで150万アクセスがあるほど人気であり、これをもとに加筆し書籍化した。	ドラフト（あわら市）
女性向けファッションブランド「axes femme（アクシーズファム）」を展開するアイジーエーの子会社である同社は、福井大などと連携して伝統工芸品や雑貨を取り扱うインターネット通販サイトの開設に向けて準備をしている。企業などとの交渉は学生がやる。	アイジーエー（越前市）
冠婚葬祭業、冠婚葬祭互助会業の同社は、法要や祝い事など儀礼の食事会場として活用できる多目的施設「華づな」を福井市四谷に12月開設する。専用の施設は同社では県内初となる。	アスピカ（福井市）
福井市藤島町のイラストレーター、伊藤友香さんが同市小路町の古民家に有料の「図書室」を開設した。名前は「トンデモ図書室伊藤堂」。図書室は有料だが、利用して感じた価値だけ料金を払う仕組みになっている。	トンデモ図書室伊藤堂（福井市）

皆様の声を
お聞かせください!!

県民ワクワクチャレンジプランコンテスト2019 活動プラン募集

応募資格●

【若者枠】若者（18～39歳）が中心となって県内で活動する団体
【女性枠】福井県内在住の女性または福井県内在住の女性を代表者とし、かつ、福井県内在住の女性2/3以上で構成するグループ

対象プラン●

【若者枠】若者グループが福井を元気にするための活動プラン

【女性枠】社会貢献、まちづくり、ビジネスなどにより、福井を活性化しようとするプラン

支援金●各100万円コース：2件
20万円コース：5件

応募締切●令和元年10月25日(金)
【若者枠】・【女性枠】共通

※ふくい若者ポータルサイト「ふくいの！」（若者枠）・福井県ホームページ（女性枠）に本事業の「募集要項」を掲載しています。募集内容、応募方法等の詳細を必ずご確認いただいた上でご応募ください。



「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便

販路開拓のチャンス!
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号

VOL.39 11月25日発行予定

チラシ提出締切日：11月15日
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) 願います。

○料 金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税抜)
A 4判以下のチラシ	6,000円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,000円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。
1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

編集後記

こんにちは！F-ACTを編集・作成に夢中で、最近1日が早く感じる編集者です。気づけばあっという間に3冊目の発行です。Facebookの取材風景もおかげさまで読んでいただいている方が増えてきています！本誌には載っていない、取材企業の「実は…」「すごい！」というところなどを紹介していきますのでぜひご覧ください。

今回の特集は「伝統工芸界の新しい動き」をテーマに組ませていただきました。私が実際に取材してみて、やっぱり福井の技術はすごい！再確認できました。ただブランド力がなかったりお互いに良い関係を持てる取引先に巡り合えていなかったりなどといった企業が、新しい動き、支援を受けて世界にまで羽ばたいている姿を見たり聞いたりすると、私たち支援する団体や企業の存在意義を再確認させられます。本誌も企業の助けになりたい一心で作り続けますので、今後ともよろしく願います！

本誌に関するお問い合わせは



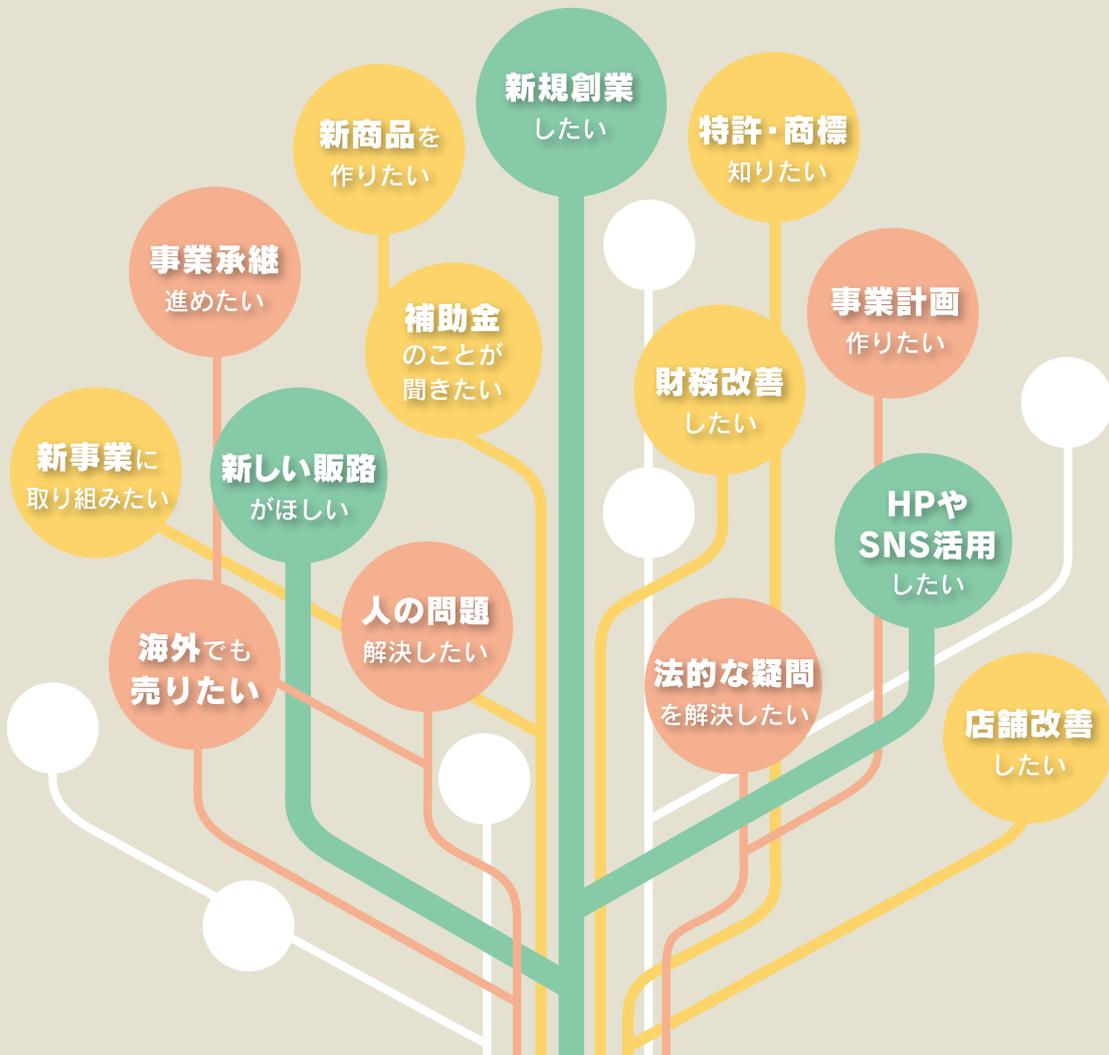
公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>

総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail: kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)



それぞれの**専門家**に
無料で何度でも相談できる

福井県よろず支援拠点



F-FACT
前向きに挑戦する福井の企業を応援します

Vol.38

令和元年9月25日発行（奇数月25日発行）

編集発行 **fisc** 公益財団法人 ふくい産業支援センター

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 TEL 0776-67-7414

1つ相談までの流れ

- 相談申込み**
電話 ☎ **0776-67-7402**
FAX 📠 **0776-67-7429**
mail ✉ **yorozu@fisc.jp**
- 相談日・場所の調整**
相談内容・相談場所・日時等を調整し相談日を決定します。
- ご相談**
相談のお時間は約1時間。
相談は県内各サテライトにて**10時～16時**対応しています。

福井拠点
福井県内各地のサテライトで
相談会実施中



中小企業のための無料相談窓口
福井県よろず支援拠点
(福井県産業情報センタービル6階)

福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16
TEL.0776-67-7402
●FAX.0776-67-7429
●E-mail:yorozu@fisc.jp

アクセスはこちら
<http://www.fisc.jp/consult/yorozu/>



福井県よろず支援拠点 検索